

## 会長声明

### 高輪築堤消滅危機についてのイコモス警告を支持する

日本最初の鉄道の一部である高輪築堤が消滅の危機に瀕していることについて、2022年1月28日、国際記念物遺跡会議（イコモス）から「遺産危機警告（ヘリテージ・アラート）」が出されました。イコモスは、ユネスコの世界遺産に関わる諮問機関であります。今回発せられました警告は、高輪築堤が世界的な文化遺産としての価値を有することが認められたことにほかなりません。イコモスの警告は、保存を一部にとどめ、多くを破壊する現状に深い憂慮と疑義を示したものです。

私たち日本考古学協会は、これまでも会長声明等を発して、高輪築堤の歴史的な価値と重要性を訴え、現地における全面的な保存を強く要望して参りました。この度の警告は日本考古学協会として全面的に支持します。高輪築堤の価値と保存の必要性が広く認識され、保存に向けて新たな方向性が見いだされることを強く望みます。

世界的に価値を認められた高輪築堤を不適切に取り扱えば、日本は国際社会のなかで、文化的見識を疑われることになるでしょう。イコモスからの警告はきわめて重大であり、官民あげて、きびしく受け止めなければなりません。とりわけ、事業主体である JR 東日本は、この警告に真摯に向き合い、企業としての品格と文化度、社会的責務を深く認識し、高輪築堤の遺構をこれ以上破壊しないよう、事業計画の抜本的な見直しにに応じていただきたいと思えます。日本考古学協会は改めて、イコモスの警告に従い、残されている5・6街区予定地内の築堤跡について全面保存を前提とした開発計画の見直しを求めます。

日本考古学協会は、イコモスによる警告の重大さに鑑み、多くの学協会のご支援をいただきながら引き続き高輪築堤の重大な価値を社会にお伝えし、保存活用の必要性を訴えていく所存です。

2022年2月22日

一般社団法人日本考古学協会

会長 辻秀人